

2024年9月27日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

## 「二酸化炭素地中貯留技術研究組合への新規組合員の加入」について

二酸化炭素地中貯留技術研究組合は2016年に設立されました。地球温暖化対策上の重要な技術である、CCS (Carbon dioxide Capture and Storage)の実用化を目指して、我が国の地質特性に適した実用化規模でのCO<sub>2</sub>地中貯留技術の開発や、CCSの社会受容性の獲得を志向した研究開発を行っております。この度、株式会社東邦アーステックが新たに組合員として加入しました。安全かつ大規模・効率的なCO<sub>2</sub>地中貯留技術の実現に向け、一層研究開発を加速して参ります。

### 二酸化炭素地中貯留技術研究組合の概要

#### (1) 実用化に向けた取り組みの概要

- ・大規模CO<sub>2</sub>圧入・貯留の安全管理技術の確立及び実用化検討
- ・大規模貯留層の有効圧入・利用技術の確立及び実用化検討や事業コスト評価
- ・CCS技術の社会実装に向けての普及条件の整備、基準の整備

#### (2) 所在地： 京都府木津川市木津川台9丁目2番地

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構内

#### (3) 理事長： 平松 晋一（応用地質株式会社 顧問）

組合員： 伊藤忠商事株式会社、伊藤忠石油開発株式会社、応用地質株式会社、株式会社INPEX、石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、JX石油開発株式会社、三菱ガス化学株式会社、株式会社地球科学総合研究所、株式会社東邦アーステック\*、国立研究開発法人産業技術総合研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構

（11企業、1国立研究開発法人、1公益財団法人、\*：新規加入組合員）

以上

#### お問合せ先

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 総務部 野村 眞、高須 伸夫、中西公美子  
電話：050-3757-2989